

自立支援協議会専門部会 活動状況について

1. 今年度の取組内容

障がい福祉サービスの利用者が65歳到達時に介護保険サービスへ円滑な移行に関する課題を整理し、解決手段を検討する。

○専門部会開催（予定）状況

	日時	場所	内容
第1回	平成29年 9月29日	芦屋保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会の目的説明とこれまでの振り返り 高齢と障がい分野の連携方法や発信の方法等を検討 下記3つの解決方法を抽出
第2回	平成29年 10月25日	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決方法を再検討
第3回	平成29年 11月22日	芦屋保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 3つの課題解決方法を具体化
第4回	平成30年 1月24日	芦屋保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決方法を共有、検討
第5回	平成30年 2月28日	芦屋保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決方法の合意形成

2. 第3回実務者会終了時点での進捗状況

解決方法種別	内容・意見等
ツールの作成	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では今後制度改正があることが予想されるため綿密に作成というよりは、県の資料を元に作成しレイアウト案程度まで作成する。申請から利用までの流れだけでなく、タイミング等も含めた詳しいフローチャートを作成。 利用者、家族、支援者と利用しやすく、共有しやすく、見やすく、扱いも容易なものにする。
研修	<ul style="list-style-type: none"> 制度理解研修 年1回、時間2時間～2.5時間 内容：①障がい、高齢の制度紹介 ②事例 ③意見交換 障がい理解研修 年1回、2時間 内容：①知的・発達・精神障がいの特性 ②困りごと相談窓口の周知 ③意見交換

連携	<ul style="list-style-type: none">• 64歳の時点から移行支援を開始し、利用者や家族の各施設、事業所について理解が進むようにする。• 連携だけで考えるのではなくツール、研修との協働も考える。
----	---

(一部抜粋)

平成29年度 専門部会名簿

構 成 員	No	所属	名前	正副
	1	なかよし工房	高橋 浄江	正
	2	グループホーム燈	高野 康彦	副
	3	芦屋市立みどり地域生活支援センター	畑中 稔	
	4	芦屋市ケアマネージャー友の会	枇榔 妙子	
	5	潮見高齢者生活支援センター	藤崎 裕子	
	6	三田谷治療教育院（計画相談支援）	笠井 光子	
	7	芦屋メンタルサポートセンター（計画相談支援）	鈴木 敦子	
	8	芦屋市社会福祉協議会（障がい者相談支援事業）	津田 美穂	
	9	芦屋ハートフル福祉公社（障がい者相談支援事業）	岡本 慶子	
	10	芦屋市高齢介護課	洲崎 智子	
	11	芦屋市障害福祉課	古川 寧子	

事 務 局 ・ そ の 他	事 務 局	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	三芳 学
		芦屋市障がい者基幹相談支援センター	杉山 勝則
		芦屋市障がい者基幹相談支援センター	石田 享子
	そ の 他	芦屋市障害福祉課	吉川 里香